

## いよいよ

開山聖人七百五十回遠忌報恩大法会に出遇うという尊いご縁を戴くことはこの上ない喜びであります。

御遠忌大法会を厳修するにあたり、如来堂に始まり、御影堂・太鼓門・山門・唐門・大玄関・召見殿・安楽庵橋・内事通路・御廟等々たくさん修復修理が行われました。この不安定な社会情勢の中、これだけの事業を行うことができ、今日の日を迎えられるのは、ひとえに檀信徒の皆様や、ご住職をはじめ派内僧侶・寺族の多くの方々のご尽力のおかげと感謝しております。

御遠忌のスローガンは「聖人のみもとに帰ろう」です。自らの力では救われることのない「煩惱具足の凡夫」である私達のために、真実の法を説き続けて下さった聖人への深い感謝と共に、御遺徳を偲びたいと思います。

申し遅れましたが、昨年、東日本大震災や新潟・福島豪雨水害・台風十二号豪雨災害などの自然災害で多くの人々が生命や財産、生活を失われたことは、非常につらい出来事でした。被害に遭われた皆さま、ご家族を亡くされた方々に心からお見舞いと哀悼の意を表します。無力な私ども唯々一日も早い復興を念じるばかりであります。

大法会を厳修するにあたり私どもは聖人のみ心をしつかりといただき若い世代へ正しく、確かに伝え渡していくことも“聖人のみもとに帰ろう”という趣旨であることも忘れてはならないと存じます。

平成二十四年四月

真宗高田派宗務総長 青木 眞曉